

# 神代之風



発行：玉置神社  
発行人：弓場季彦  
TEL 0746-64-0500  
FAX 0746-64-0429

## 遠来より参加、 共に復興を祈る

平成23年9月3日に襲った台風12号は、紀伊半島に未曾有の大水害をもたらした。以後、公も民も一体一丸となって1日も早い復旧・復興を目指してきたが、元の姿に戻るのには少し時間が必要。

また、犠牲になった方々への思い、悲しみは消えるものではない。苦しみに耐え、復興に立ち上がる人々に今もこれから先もお守りいただき、やがて紀伊半島は新しい装いをして、以前にもまして優れて美しく豊かな地として蘇ることを切に願った。

この復興祈願祭の実り多くを記念して、玉置神社に古来より伝わる神事芸能「神楽舞」と他に「小舞」を神職が奉納した。

大水害という試練のあとに玉置の神々は、素晴らしい次のステージを用意して下さると信じながら・・・。

なお、ご案内を差し上げたわけではないが、遠来の地山陽道からは20名余りの方が参加してくださいました。  
ありがとうございました。

# 紀伊半島大水害復興祈願祭 4月20日斎行

神楽舞・小舞を奉納



## 山上の交流

4月13日(土) 早朝から玉置山山頂は賑わいました。

村外からの参加者も含むボランティアの皆さんが「アニメ」レッド・データ・ガール」の主人公鈴原泉水子が巫女姿で舞ったという山頂一帯を清掃しました。

遙か太平洋を遠望できる神気宿る山頂はひそやかに佇んでおられ、訪れる人々に絶好の眺望ポイントを提供してくれています。

最近訪れる人々も多くなり少し山頂が荒れてきた気配もあり、この日休日返上でボランティアとして十津川村役場の職員の方も皆さんも参加され、ビン、ペットボトルなど多量に回収できました。

皆さん賑やかに楽しみなながら、あたかも山頂におやすみであるう神々と、舞をしながら交流しているが如き風情でした。

山頂も一層清々しく何やらみずみずしくなりお喜びのようでしたね。ボランティアの皆さんありがとうございました。



# 玉置山文化サロン

地蔵院と建仁寺にて  
細川元総理制作の襖絵拝観

## 「胸中の山水」

細川護熙展そして

地蔵院、

正伝永源院、建仁寺へ



細川元総理大臣は、政界を引退後陶芸を始められ近年油絵や水墨画にも取り組まれている。このたび胸中の山水細川護熙展が阪急うめだギャラリーで開催された。

氏が制作された細川家ゆかりの深い地蔵院の襖絵10面と細川家菩提寺正伝永源院の襖絵が16面展示されていた。まことに壮観であった。襖絵の木枠には確か樹齢2600年ほどする神代杉(神代樺?)が使用されているという説明があり少しびびつくり目を改めて地蔵院、正伝永源院を訪問、そして襖絵など再び展示されている建仁寺へも向かった。雨の日、巨大な広間において再びこれら襖絵を拝観。スケールの大きさを実感。

玉置神社社務所には狩野派一門が約200年前に描いた国指定重要文化財の襖絵が60枚ある。時の経過に耐えて痛々しくも輝きを保っているが、さてどう守り伝えていくか・・・。

さて氏にはたくさんさんの著作もある。このたび展示会場で著書3冊を購入。いずれの書物も心の琴線を揺さぶられております。過ぐる年に氏の書物持参すると気軽に署名してくださったのもありがたく、懐かしく思い出されました。

## 紫舟「水滴々人歩々」

みずてきてきひとてくてく

奈良で研鑽そして東京へ。書を美術品としてより文字を表現する手段としてとらえ、文字に表情・感情をつけ情報としての文字に意思を吹き込むことを試みておられる。

今日、日本の伝統的な書を感情や意思を表現する手段として発信し、書の伝統と革新を融合した作品の展示会がグッチ新宿において開催され立ち寄ってみました。まさに、書のイメージを越えた書の展示と仕掛け。これは書なのか絵画なのか。滝の如く流れる水に浮かぶ書と登鯉の姿。しばし立ちすくむ思い。書のコメントも味わい深い。

「急流に映った月影が流れないように  
あわただしい日々でも

大切なことは、かわらない  
「お日様とお月様いつもわたしたちの  
足元と未来を

やさしく照らしてくれる”  
大いなる自然と調和し、寄り添い、敬い恵み  
をいただき、共に生きてゆく、その姿を  
作品に込めました。(紫舟)・・・とあ  
りました。  
素晴らしい!

## 片岡八郎公顕彰会慰霊祭

片岡八郎公の慰霊祭が5月2日玉置神社において執り行われました。片岡八郎公は、現・王寺町の出身で大塔宮護良親王に従っていた供の一人で、親王が十津川にのがれてきたとき行く手を阻もうとした一味をただ一人で立ち向かってこの玉置山で討ち死にしました。



その場所に人々は公の忠義を偲び山中の花を折って供え、いつしかそこは花折塚と呼ばれるようになりました。例年、その花折塚に王寺町から片岡八郎公顕彰会の皆さんが参拝し、慰霊祭を斎行している。半年はあいにくの雨で玉置神社内で約20名の参加者を得て執り行わされていたきました。花折塚の花よいつまでも。

## 藤原紀香さん参拝

女優の藤原紀香さんが来社され、参拝のあと神代杉など見物されていました。

シヤクナゲの花はまだ蕾みであったのはいささか残念。神社はいかがでしたかとお尋ねすると、「とても爽やかな気分を満たされました」と、こぼれるような微笑を見せてお帰りでした。

カラフルな一陣の風が吹き抜けていったような心地でした。たつぷり余韻を残して。

## 襖絵紹介(2)



花鳥図は狩野派の絵師たちにとって主要な画題の一つであり、様々な禽鳥が花・草木と共に描かれてきた。玉置神社社務所にも孔雀図の他に鶴の図が残る。

社務所中央「鶴の間」の図は十二面で構成され、西面の杉戸に「竹鶴図」南側壁に「松鶴図」そして東面の杉戸に「芦鶴図」と配置。天に向かつて鳴く真鶴、竹に身を寄せて休む丹頂鶴等様々な姿勢をとる十七羽の鶴が交差しながら描かれている。



「鶴の間」南側壁

この様な障壁画制作に際し、江戸期の絵師たちは「粉本」と呼ばれる下絵を元に仕事をを行ったことが知られている。また粉本は画塾の教材としても使用され、弟子達は臨写・模写を段階的に行い、絵師としての基礎を学んだようである。

保春は保国の弟子から養嗣子になり家督を継いでいる。

保国の父守国の粉本『絵本寫寶袋』に真鶴の絵があり、保春も模写したことは容易に想像できる。(次号に続く)

## 玉置神社と観光

観光協会会長

田花 敏郎

台風災害よりはや2年になろうとしています。国、県、村当局のおかげ様で村内の温泉施設は本復旧事も終わり、大変ありがたく思っています。また、道路におきましても一部迂回路ではありますが、安心して走行できる状態となりました。

観光協会では「十津川へ安心してお越しください」とネット配信、また観光キャンペーンなどで情報発信を行っていますが、まだまだ風評被害が強く、苦勞しているのが現状です。これから台風が近づくことにより、12号災害が思い出され、お客様の足が遠くのではないかと不安になることもしばしばです。そんなことばかり考えるよりも、誘客するためにはやはり十津川の魅力「源泉かけ流し温泉、世界遺産、自然人」などをアピールし十津川村へ来ていただくための努力を続けていかなければならないと思います。今年も川もよみがえってきております。魚協組合の皆さんの努力により、たくさんの鮎が放流され、たくさんの釣り人で賑わいを見せてきております。

われわれ観光協会は玉置神社において、毎年、石楠花の花殻摘み作業、そして、本殿、神代杉、夫婦杉、大杉、磐余杉、常立杉に注連縄を作製、奉納させていただいております。

玉置神社は世界遺産の中にも含まれ、熊野三山の奥ノ宮とも呼ばれ、ご参拝のお客様は増えつつあるように思います。こういったことが観光

と密接につながり、村の活性化にも役立ってくださると思えます。

さて、来年は世界遺産、及び源泉かけ流し宣言の10周年という年に向け、玉置神社そして行政との連携の中で村の活性化、観光協会の発展に頑張りたいと思っています。

### 神社日誌抄

4月 5日・日本舞踊家やまどふみこさんやまど舞を奉納	5月27日・三柱神社鳥居立替工事安全祈願斎行 ・田花会長、森事務局局長
4月14日・大鳥居小修理	5月29日・十津川高校生2名と先生が神社の歴史等について調査のため来社
4月16日・平井康之王子町長参拝	6月 4日・早稲田大学商学部太田正孝教授ゼミ一行が来社 ・専門業者により本殿やその他の社の老朽、損壊状況等の全面調査 ・伯舟庵浅井将皓・香舟ご夫妻、デザイン活動収益金の一部を奉納
4月24日・十津川村閩東郷友会の皆さんが参拝	6月 9日・田上昌宏ご夫妻参拝 田上氏は水道修理をご奉仕してくださいました
5月 9日・十津川第一小学校3年生13名が神社の歴史や文化財について学びに来社	6月20日他・村教委柏木さとみ課長補佐社務所等の文化財その他現況調査に度々来社
5月11日・笑観の会31名正式参拝	
5月12日・奈良県神社庁事務局長、ご視察のため来社	
5月26日・近畿文化会・近畿日本鉄道主催 40名が講座の1環として来社	

\*祭式・雅楽(龍笛)弓神楽研修は引き続き定期的に継続して実施中。雅楽、弓神楽の体験を希望される方は社務所お問い合わせください。



浅井将皓・香舟ご夫妻



早稲田太田教授一行



近畿文化会の皆さん

# 防犯の窓(2)



## 奈良県五条警察 瀧駐在所

池田 譲二

私の出身地は、奈良県宇陀市榛原篠楽(旧奈良県宇陀郡榛原町篠楽)です。私は、今から37年前の昭和51年3月から昭和52年3月までの1年間、瀧駐在所で勤務させてもらった懐かしき思い出深い勤務地に平成22年に戻ってくる事ができました。

瀧駐在所は、奈良県下最南端に位置し、吉野熊野国立公園にあって、特別名勝「瀧八丁」を管轄し、また、瀧駐在所から西方約15キロメートル、車で約30分の聖地・熊野三山の奥の宮に玉置山(標高1,076メートル)の山頂直下の九合目に、玉置神社が鎮座しています。その玉置神社も管轄しています。

玉置神社は、第十代崇神天皇の時代に創建された皇室関連施設のため、私は警戒対象施設として、再三周辺道路、駐車場、社境内のパトロールを強化しております。皆様が、車で玉置神社へお参りの際は、昔の道路事情からしますと大変通行しやすくなっておりますが、場所によっては狭い所もありますので、スピードを控えめに、カーブミラーをよく見て安全運転でお越しください。

また、車上狙いが多発しています。車を駐車される際は、カバンや財布などの貴重品を車内に置かないよう(車内を空っぽ)にして下さい。

私は、地域の皆様が日本一安全で安心して暮らせるよう頑張りますので、皆様のご協力よろしく願います。

## 石楠花は招くよ

「石楠花の見頃はいつ頃ですか」とのお問い合わせは4月の中旬から多数ある。

県外遠方からのものが殆ど。物言わぬ石楠花に代わって広報担当のつもりで石楠花の魅力についても懸命にPR。



玉置神社近くの21世紀の森・紀伊半島森林植物公園では、本年4月28日(日)から5月6日(月)まで石楠花まつりが催された。石楠花中心にまさに百花繚乱、原色系も多く勢いを感じました。

玉置神社一円の石楠花は高山ということもあり、少し遅れて花を咲かす。ほぼ全てが和製の石楠花で、白とピンクの溫和しい風情。クッキリと何やら恥ずかしげに咲くもシンは強そう。でも一週間ほどで花たちはどこかへ去っていきました。観光協会の皆さん例年のように花鼓摘みしてくださいました。30名ばかりの参加がありました。花たちも喜び来年はまた帰ってきて、さぞ、美しく咲いてくれるでしょうね。

## 崇敬会入会のご案内

玉置神社崇敬会は全国をはじめ世界からの玉置神社を崇敬する人々の集いです。ご入会いただきますと次のような特典があります。

- 一 当社の年中祭事に御案内申し上げ、春秋の大祭に参列できます。
- 二 新しい年の御神符が授与されます。
- 三 社務所内の国指定重要文化財の襖絵が無料で拝観できます。
- 四 当社の広報紙を発行することにお届けします。
- 五 その他検討中の企画が具体化されたときは特典に組み入れて参ります。

問い合わせ

玉置神社社務所

電話 〇七四六一六四一〇五〇〇

FAX 〇七四六一六四一〇四二九